

15 面接試験について

(1) 面接試験について

大学・短大の学校推薦型選抜や総合型選抜(旧AO入試)、国公立大学の二次試験、専門学校などで、面接試験が実施されることがあります。個人の特性や人間性、進学への意欲などが確認されたり、基礎的な学力や能力が測られたりするもので、質問の受け答えはもちろん、マナーなども含めてしっかりと対策をしておかなければなりません。暗記に頼ったり、背伸びをしたりするより、自身の意欲や人間性を主張できる力を身につけましょう。

(2) 面接試験のタイプ

①個人面接…受験生1人に対して2～3名の面接官で行われる最も基本的な形式。

事前に提出した「志望理由書」などを基に質問されることも多く、専門分野についての基礎的な知識などが問われることもある。

②集団面接…受験生が複数で入室し、面接官が質問を課す形式。「志望理由」「自己PR」など、同じ質問をひとりずつ聞いていく進行が一般的で、回答する順番を変えたり、それぞれ違う質問をされることもある。

③その他……複数の受験生同士で特定のテーマについて話し合う「グループディスカッション形式」や、事前に与えられたテーマについての発表を行う「プレゼンテーション形式」もある。

(3) 面接試験でよく聞かれる質問の例

①志望理由…「本学を志望した理由」「学部・学科で学びたいこと」など

②入学後の目標(抱負)…「何を学びたいか」「勉強以外に取り組みたいこと」「卒業後の進路」など

③高校生活について…「高校で頑張ったこと」「最も印象に残っていること」「どのような高校か」など

④自己PR…「〇分で自己紹介」「長所と短所(改善のための取り組み)」「得意科目と不得意科目」など

⑤その他…「大学の印象」(オープンキャンパスに参加してどうだったか)「最近気になるニュース」など

(4) 面接試験対策のポイント

①伝えたいことの要点を考え、簡潔に話せるようにしておく。「志望理由書」の内容を頭に入れておく。

②大学のアドミッションポリシー(「どのような学生に入学してほしいか」)を理解しておく。

オープンキャンパスに参加し、志望学部のカリキュラムも読み込んで、「本気度」をアピールする。

③普段から、言葉遣い・マナー・立ち居振る舞いに気をつけ、丁寧な敬語で話せるようにしておく。

④過去の面接形式や質問の傾向などを把握し、準備をしておく。口頭試問で専門知識を問われる場合や、事前提出のレポートや小論文試験で書いた内容について問われる場合は、学びたい学問や身につけた技能分野についての知識を増やし、自分の言葉で話せるようにしておきたい。

(5) 面接試験で注意したいポイント

①質問をよく聞く。…面接官が知りたいことを正確に把握し、質問に合った回答をする。

②結論から話す。…質問の回答と理由をセットにして、具体例も交えて説明する。

③無言は避ける。…予期しない質問に困った場合でも「これから考えていきたい」など必ず回答する。

④身だしなみ・言葉遣い(声)・姿勢・目線・歩き方など、だらしくならないように心がける。

(6)過去の受験報告書より(一部)

学校名	学部・学科	主な質問事項
京都府立大	公共政策	*志望動機、小論文問題の内容
京都府立医科大	看護	*志望動機、小論文問題の内容
鳥取大	農	*志望動機、ボランティア活動について
龍谷大	経営	*志望動機、入学後の抱負、アドミッション・ポリシーが言えるか
京都産業大	コンピューター理工	*志望動機、ボランティア活動の有無
佛教大	社会	*志望動機、入学後の抱負、提出課題の内容について
同志社女子大	現代社会	*志望動機、入学後の抱負
大谷大	文学	*自分の名前について、最近読んだ本について
花園大	文	*志望動機、将来について
京都第二日赤看護		*志望動機、家庭での役割
京都経済短大	経営情報	*志望動機、将来の夢、得意教科・不得意教科
大阪成蹊短大	経営会計	*志望動機、将来の仕事
日産自動車	自動車工	*志望動機、未来の車
京都歯医技専	衛生士	*歯科医療と一般医療の違い、健康法
京都コン学院	ネットワーク	*志望動機、将来設計
京都製菓技専	パティスリー	*志望動機、長所・短所、服装、校則、将来設計
大阪保育福祉	幼児教育	*志望動機、なぜ推薦入試を選択したか